

ダー
ン
グ
協
会
ア
ン
グ
日
本
ラ
イ
テ
ィ
ン
グ

日本アンダーライ
ティング協会は6月18
日、東京都港区のアク

第4回海外事情研究会開催

「ダイナミックアンダーライティング」テーマに



Chetan
氏

サ生命本社で、第4回
海外事情研究会を開催
した。スクール再保険
メディカルディレクタ
ー兼リージョナルシニ
アメディカルアンダー
ライターのChetan
Nitnaware氏が「Shi
ft towards Dynam
ic Risk Profiling
」をテーマに講演
した。当日は23人が出
席した。
Chetan氏は始め
に、ダイナミックアン
ダーライティングの概
要と、今後保険業界へ
どのように影響するか
について説明した。タ



当日は23人が出席

イナミックアンダー
ライティングとは、被保

の。この手法により、
被保険者一人一人に、

険者の健康
上のリスク
を、加入時
だけではなく、
ウェル
ネスブラッ
トフォーム
やビッグデ
ータ等のテ
クノロジー
を利用して
継続的に追
跡していく
というも

その時々の健康状態に
適した商品や保険料を
提示できるようにな
る。
また、他の恩恵もあ
る。安い保険料で契約
を継続するためには、
被保険者のおのが健
康を意識する必要があ
るため、被保険者の健
康増進にもつながると
いう。なお、この継続
的なダイナミックアン
ダーライティングで
は、被保険者の健康状
態が加入時より悪化し

た際も、標準的な健康
時の保険料を上回るこ
とがないという解説が
あり、参加者の興味を
引いていた。
その後、情報の取り
扱いやセンシティブ情
報提供に対する消費者
の趣向について、デー
タを用いて説明があっ
た。中でも、自身の個
人情報の第三者提供に
対し、APAC(アジ
ア太平洋地域)と日本
の消費者の感じ方の違
いの説明が参加者の興

味を引いていた。日本
の消費者は他国の消費
者に比べて個人情報
開示に抵抗を示すが、
安価な保険料という利
益があれば情報提供を
するという結果だっ
た。また、若年層は情
報提供に抵抗が少ない
というデータも示され
た。
今後アジア市場で
は、健康向上に役立つ
装着可能な保険向けの
機械(万歩計など)が
ますます増えていくこ

とが見込まれる。今回
のセミナーを通して、
保険業界も近い将来、
ダイナミックアンダー
ライティングを使用し
た新たな展開を迎える
ことが実感された。
今回のセミナーは全
て英語での解説であっ
たが、講師と受講者の
間で質疑応答も活発に
行われ、海外の保険事
情について学べる有意
義な機会となった。
(文責：チューリッ
ヒ生命・石井麻由子)